

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と改善方途

全国の小学6年生、中学3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」で明らかになった本校の学力の傾向、生活習慣や学習環境に関する意識についてお知らせします。また、南学園で学力向上に向けての改善方策をまとめました。

◆学力に関する調査の結果から(後期課程:9年生)

	特に身に付いている内容	課題のある内容
国語	<p>叙述を基に捉え、要旨を把握するような「読むこと」の領域では、力が付いていると言えそうです。しかし、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめるような「聞くこと」の領域に弱さが見られます。また「話すこと・読むこと」、「書くこと」、「読むこと」のどの領域においても無回答率が高い傾向にあります。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中心的な部分と付加的な部分について、叙述を基に要旨を把握すること ・事象や行為、心情を表す語句の理解 ・古典の原文と現代語の文章を対応させて内容を捉えること 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること ・文脈に即して漢字を正しく書くこと
数学	<p>「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域において、全国や県の平均と比べてもよい傾向にあります。しかし、問題解決の過程を振り返って考え、成り立つ事柄を説明することや、構想に基づいて証明するなど、記述の問題については無回答率も高く、正答率も低いです。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること ・事象を理想化・単純化して解釈すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・成り立つ事柄を説明すること ・構想を基にある事柄を証明すること ・傾向を比較し、判断する理由を説明すること
英語	<p>情報を聞き取るなどの「聞くこと」、関係を正確に読み取るなどの「読むこと」の領域では、力は付いていると言えそうです。一方で、理由を書くなどの「書くこと」の領域では弱さが見られます。全国的に正答率の低かった「話すこと」については、全国平均と比べるとよいですが、決して満足できるような正答率ではありません。自分の考えを記述したり話したりするなど、表現する力を養っていくことが課題と言えそうです。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ること ・事実と考えを区別して読むこと ・短い文章の要点を捉えること 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えやその理由を書いたり話したりすること ・肯定文や疑問文を正確に書くこと

◆学力に関する調査の結果から(前期課程:6年生)

	特に身に付いている内容	課題のある内容
国語	<p>目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約するなど「読むこと」領域については比較的力が付いていると言えそうです。一方、図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するような「書くこと」については弱さが見られます。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめること ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる関係の表し方を理解し使うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと
算数	<p>伴って変わる2つの数量の関係について求めたり表したりする「変化と関係」領域では、比較的力が付いていると言えそうです。一方、棒グラフなどから見いだした違いを説明したりする「データの活用」領域や、「図形」領域では正答率が低く、課題があると言えそうです。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・表から変化の特徴を読み取り、表を完成させること ・加法乗法の混じった式の計算や、分配法則を用いた計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフから特徴を読み取り言葉と数を用いて気付いたことを記述すること ・百分率で表された割合についての理解

◆生活習慣や学習環境に関する質問紙の結果から

*「自分にはよいところがあると思うか。」自己肯定感

㊦ 88%、㊧ 91%の児童生徒が自分のよさを感じています。全国や県の平均値と比較しても数p t 高い結果です。自分のよさを見つけ、伸ばし、発揮できる学校づくりを、児童生徒と教師で進めていくことが大切だと考えています。

*「将来の夢や目標を持っているか。」夢や希望

㊦ 84%、㊧ 74%の児童生徒が“夢や目標を持っている”と回答しました。夢や目標を持つことが、毎日の生活にメリハリが出て、充実させることにもなります。学年が上がって数値が低くなっていることが気になります。仲間との生活、様々な体験活動等を通して、自分自身の将来像を確立していけるようにしていきます。

*「人の役に立つ人間になりたいと思っているか。」自己有用感

すべての児童生徒が“人の役に立ちたい”と回答しています。広く大きな社会の中でも、自分らしさを発揮したいと願う児童生徒の集まりが南学園です。こんな仲間たちとなら、いろいろなことにチャレンジしていけそうですね。

*「学校に行くのは楽しいと思うか。」 **学校の楽しさ**

前 82%、後 91%の児童生徒が“学校に行くのは楽しい”と回答しています。目標は100%です。どの学年のどの子どもが楽しく過ごせる学校にしていくことが大切だと考えています。

*「家で、自分で計画を立てて勉強をしているか。」「平日、1時間以上の学習をしているか。」 **家庭学習**

“計画を立てて学習できている”と回答したのは前 82%、後 83%の児童生徒でした。“平日2時間以上の学習をしている”と回答した9年生は60%、“平日1時間以上の学習をしている”と回答した6年生は62%でした。昔から小学生の学習時間は(学年×15)分、中学生の学習時間は(学年+1)時間と言われています。学校からの宿題に付け加えて、自主的・計画的に進める学習にも取り組めるとよいです。

*「〇〇の勉強は好きですか。」「〇〇の勉強は大切だと思いますか。」

「〇〇の授業内容はよく分かりますか。」「〇〇で勉強したことは、将来社会に出た時に役に立つと思いますか。」

	前期課程(6年生)		後期課程(9年生)		
	国語	算数	国語	数学	英語
〇〇の勉強は好きですか。	54%	60%	67%	70%	53%
〇〇の勉強は大切だと思いますか。	98%	98%	96%	90%	86%
〇〇の授業内容はよく分かりますか。	92%	92%	90%	84%	79%
〇〇の学習は将来役に立つと思いますか。	96%	94%	95%	86%	91%

「〇〇の勉強は好き」と回答する児童生徒は、後期課程の方が高い反面、「〇〇の授業内容はよく分かりますか」については後期課程の方が低くなっています。学習内容が難しくなっていることも要因の一つで、これまで以上に『わかる授業・できる授業』を推進していく必要性を感じます。

◆今後の改善方策

- *国語科の授業(言語活動)を中心に、学校生活全体において“話す”、“書く”の場面を充実させ、自分の考えをまとめたり、表現したりする力を伸ばせるようにする。
- *算数・数学科の授業を中心に、自他の考えを順序よくまとめ、論理的な思考力を育む場を増やす。
- *「なぜ」「どうして」を考え、話し合う活動を通して、自分の考えを表現する力を伸ばせるようにする。
- *1～9年生の仲間との活動を工夫し、協働的な学びの機会を充実させるようにする。
- *どの教科においても、積極的にタブレット端末を活用し、学びの自己選択による個別最適な学びができるようにしていく。
- *教師の指導力を高めるために、1時間ごとの学習活動が充実するような手立てを講じる。

①必然性のある課題設定、②課題追究時の手立ての工夫、③自己の変容を見つめる終末の工夫